

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト訪問記録

多可町立杉原紙研究所	
カテゴリー:	
所在地: 多可郡多可町	
調査隊: KUPI 学生と保護者 (訪問日: 2023.11.16)	
障害種別: 知的障害	
プロジェクト参加への動機: ・障害のある方の来館が増えていることから、どのように対応すればよいか知りたい	
PR したいところ: ・実際に紙をつくる作業を間近で見ることができる。その作業が日によって違う工程を行うので、来るたびに違う工程を見ることができる ・和紙についての歴史を知ることができる	
特別な配慮を必要とする人(高齢者・障害者・外国人など)向けのプログラム・配布物がありますか? ・紙漉き体験は障害の有無に関係なく誰でも体験してもらえる ・英語の配布物は用意されている	
障害者への対応をしていることはありますか? ・体験工房・作業工房とも見学コースはなるべく段差を少なくしている ・車椅子の方の作業体験では作業台の高さを合わせるために都度簡易的に対応している	
障害のある人が来館されて、困ったこと／どうしていいかわからなかったことはありますか? ・複数の建屋があるので、雨天時の移動にご不便をおかけしている ・紙漉き体験の時に、どの程度までお手伝い(補助)をすべきか迷うことがある。	
調査報告 よかった点(いいな、と感じた点) ・プロの方の紙漉きの技を実際に説明してもらって見る事が出来るのがよかった	

- ・自分で紙漉き体験ができ、持ち帰ることができるのは楽しい
- ・ビデオで加工の様子を見ることが出来、当日見られない作業についてもよくわかった
- ・色々と質問しても全部丁寧に答えてもらえて嬉しかった
- ・紙漉きの方法を丁寧に教えてもらえて、うまくできたのが嬉しかった

調査隊が「こうすればもっと楽しめる」と感じた点

- (館としての考えられる対応策 → (A)すぐにやれそうなのでやってみよう
(B)色々な内容を精査して中期的に計画しよう
(C)長期的に検討課題としよう
(D)対応が難しい・できない

プログラム

- ・紙漉き体験の前にすべての工程を写真と一緒に説明してもらえたり、完成品を見たり触らせてもらうことができたなら、先の見通しが出来て作業を理解しやすい

→(B)

- ・体験の最初に「水が冷たいこと」を説明しておいてもらえると手を入れた時に水の冷たさに驚かずに体験できたと思う

→(A)

- ・紙を漉いてから飾りの具材について説明していただきましたが、事前に見本と具材を見せてもらってスタートできたら、出来上がりをイメージしながら体験できたと思う

→(A)

- ・体験のスタート時に名前を紙に書いたが、何のためかよくわからなかった。何のための紙か説明があればよかった。また文字が書けない人のためにマークや記号の紙(メモ)を用意しておいてもらえるといいと思う

→(A)

- ・漉く作業の時の木枠の持ち方を「真ん中に親指を置く」という説明だけでなく、木枠の親指を置く場所に目印が付いていると持つ場所がわかりやすいと思う

→(A)

- ・漉く作業の時「枠を垂直に入れる」という説明だけではなく、「垂直」がわかりやすいイラストなどがあればいいと思う

→(B)

- ・知的障害のある人は回数を重ねると上手にできるようになるので、体験の紙サイズを小さいものを2回つくれるような設定があるとありがたい

→(C)時間があれば、1回目は練習、2回目は本番という設定も可能です。

- ・売店で売っているような和紙を使った作品を作るワークショップがあったらもっと和紙に親しめと思う。きれいなものが作れたら嬉しい

→(C)スペースが確保できれば可能だと思います。

展 示

・楮の皮、白い部分などにふれるコーナーがあったら楽しい。

→(A)

・工房の入り口に楮の木があったので、「楮」の名札があると「この木が！」とわかりやすい

→(B)説明文も含めたものを考えていきます。

施 設

・紙漉き作業場の段差にテープなどが貼られていると、段差があることがわかり易く安全だと思う

→(B)

・トイレが川向うの道の駅だということの表示があったらありがたい

→(B)

受け入れ体制

その他

・体験のときにお借りするエプロンにポケットがあれば、ハンドタオルを入れておけるので便利だと思う

→(C)現在のエプロンの交換時期がくれば、ポケット付きのエプロンに替えていきます。

★プロジェクトに参加して

調査隊の感想

- ・できた作品を持ち帰ることができるようにとの配慮から説明よりも体験を先にしてくださった。そのために全体説明が先にあればよかったという意見が多く出てしまう形になった。とはいえ、作ったものをすぐに持ち帰ることができたのは当事者にとってはとても嬉しかった。(日にちが経つと忘れるので)
- ・体験と説明、どちらが先になってもメリット／デメリットがあるので、団体にはどちらを先にするか説明して選んでもらってもよいと思う。
- ・車椅子ユーザーの方にどのような作業台を整えればよいかについて、意見を聞いてくださったことで館の真剣な取り組みがわかったと同時に調査隊が調査隊としての意識が高まった。

施設の感想(気づきや発見)

- ・来館者からその場で困ったことなどを伝えるのは勇気がいることだと思うが、このようなプロジェクトを通じてであれば、目的が共有でき、意見交換もできるので今まで気づかなかったことが発見できて実りのあるものだった。
- 今後、実際に来られた方に直接困った点や不備な点がないかを聞くことも一案だと感じ、できることから取り組んでいきたいと思う